

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	15-325	慶應義塾大学
<b>題名(原題/訳)</b>		
Using ethyl glucuronide in urine to detect light and heavy drinking in alcohol dependent outpatients. アルコール依存的な外来患者で少量と大量飲酒を検出するための尿中エチル・グルクロニドの使用		
<b>執筆者</b>		
McDonnell MG, Skalisky J, Leickly E, McPherson S, Battalio S, Nepom JR, Srebnik D, Roll J, Ries RK.		
<b>掲載誌</b>		
Drug Alcohol Depend. 2015 Dec 1;157:184-7. doi:		
<b>キーワード</b>		<b>PMID:</b>
アルコールバイオマーカー、エチル・グルクロニド、大量飲酒、カットオフ値		26475403
<b>要旨</b>		
<p>目的: 本研究は、アルコール依存症外来患者で、5 日間にわたってエチル・グルクロニドのイムノアッセイ (EtG-I) のどのカットオフ値が少量と大量飲酒を最も検出するかについて調査した。</p> <p>方法 アルコール使用障害と同時に精神障害をかかえる合計 121 人の成人は、アルコール治療研究に参加した。参加者は、16 週 (完全 samples=2761) 間にわたって、自己申告の飲酒データと尿サンプルを 1 週につき 3 回提供した。EtG-I の低値および (100ng/mL、200ng/mL)、中等度の値 (500ng/mL) と少量飲酒量 (女性で 3 ドリンク以下、男性で 4 ドリンク以下) と大量飲酒 (女性 &gt; 3 ドリンク、男性で &gt; 4 ドリンク) との一致について、1~5 日の間算出された。</p> <p>結果 100ng/mL のカットオフ値は、少量飲酒を 2 日目まで &gt; 76% で、少量飲酒 5 日目で 66% を検出した。100ng/mL のカットオフ値は、大量飲酒の 84% (1 日) ~ 79% (5 日目) を検出した。200ng/mL のカットオフ値は、5 日目でも少量飲酒を &gt; 55%、大量飲酒の &gt; 66% を検出した。500ng/mL のカットオフ値は、1 日間の少量飲酒の 68% と大量飲酒の 78% を同定した。その後少量飲酒は (2-5 日で &lt; 58%) 大量飲酒で (2-5 日 &lt; 71%) と検出率は減少した。100ng/mL と比較して、200ng/mL と 500ng/mL のカットオフ値は、偽陽性に少なくする。</p> <p>結論: 100ng/mL の EtG-I カットオフ値は、大量飲酒を 5 日後まで、どんな飲酒でも直前の 2 日前までなら検出しそうだ。500ng/mL のカットオフ値では、前日の大量飲酒を検出するだけになりそうだ。</p>		